



あとがき



核データニュース編集小委員会のメンバーになって二度目のあとがきを書かせて頂きます。複数回の核データニュースの発行の経験を経て、ようやく編集小員会における自分の役割を徐々に認識できてきたところではありますが、読者の皆様に満足頂ける十分な仕事ができているでしょうか。

さて、今回で核データニュースも138回目の刊行を迎えますが、よくよく考えてみれば、約半世紀もの間、ほぼ年3回のペースを守って定期的な発行を行うことは容易なことではないように思います。最近身の回りで人手不足を理由にした様々な縮小・廃止のニュースが多く聞かれるようになってきましたが、このような厳しい状況の中でもペースを落とさずに発行を継続できているのは、核データ部会の関係者の皆様のご協力・ご尽力の賜物であると考えます。人間はどうしても楽な方に流されやすい傾向があり、私自身も何か理由を探して継続を諦めてしまうことがあります。核データニュースの発刊が核データ分野の発展を支える1つの駆動力になっていることを認識し、編集委員として微力ながらそのお手伝いをさせていただければと思っております。少なくともこれまで核データ部会の皆様が維持してきたペースを乱さぬように、滞りなく編集作業にあたっていきたいと思っております。

丸山 修平 2024年6月

日本原子力学会核データ部会

核データニュース編集小委員会

合川 正幸 (北大)

岩本 修 (原子力機構)

大塚 直彦 (委員長、IAEA)

金 政浩 (九大)

小浦 寛之 (原子力機構)

中村 詔司 (原子力機構)

丸山 修平 (原子力機構)

山野 直樹 (RADONet)